

臨床ケースレポート 医療用品4. 整形用品 高度管理医療機器 コラーゲン使用人工骨



Collagen Hybrid

リフィット®

腰部脊柱管狭窄症に対し OLIF 施行 (L3-5) (67歳・女性)

術中所見



骨髓液に
リフィットを
浸漬

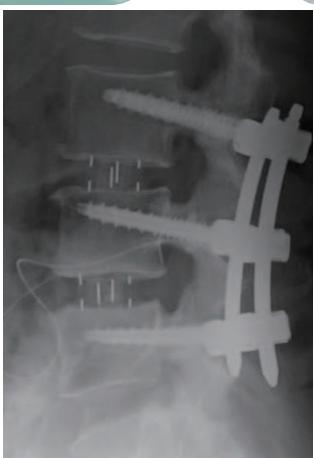


ケージ挿入時、前方に自家骨、
後方にリフィットを補填

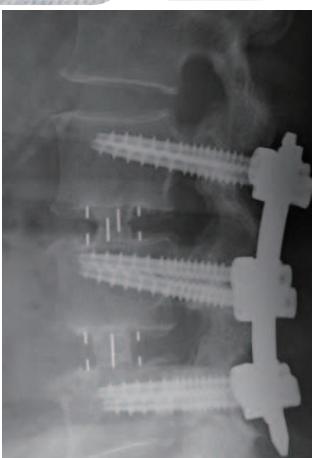
側面



術前

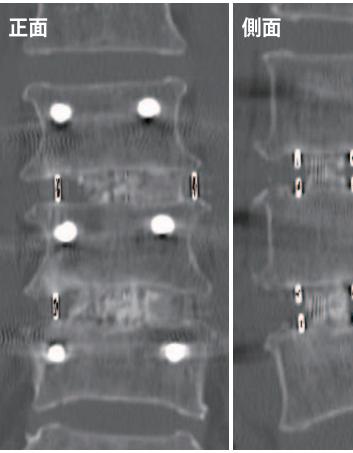
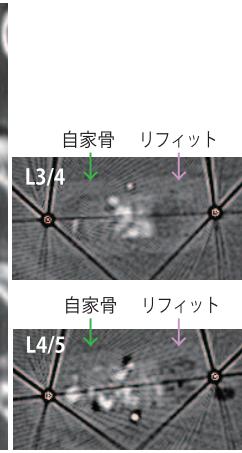
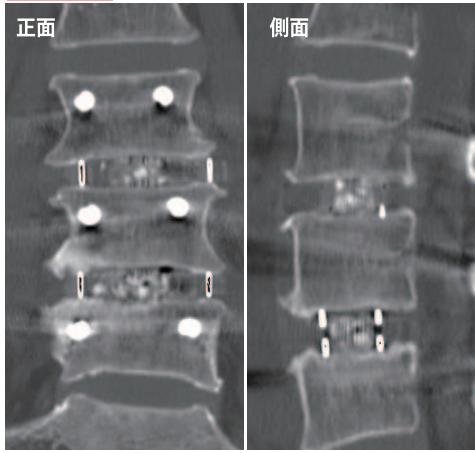


術直後



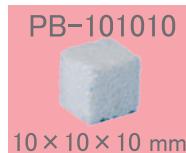
術後6ヶ月

CT 画像



術直後

術後6ヶ月



腰下肢痛などを主訴に来院。腰部脊柱管狭窄症に対して L3-5OLIF を施行した。手術では PEEK ケージ内に自家骨と骨髓液を浸漬させたリフィット (10 mm × 10 mm × 10 mm ブロック 2 個 : 2mL) を充填した。術後、症状は改善し退院した。術後 6 ヶ月の CT 画像では、ケージ内の移植骨 (自家骨とリフィット) が骨に置換されている様子が認められる。

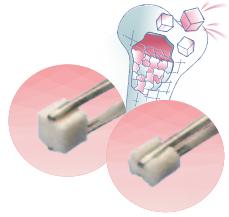
当院ではこれまでケージ内への移植骨として腸骨から採骨した自家骨を使用していたが、大量の採骨は侵襲が大きくなるため、現在はリフィットを併用している。以下にリフィット使用時のポイントを示す。

- 【ポイント】
- ①採骨前に腸骨より骨髓液を採取する。
 - ②リフィットの二重滅菌内袋に使用予定のリフィットをひとまとめにし、その中に骨髓液をいれて十分にリフィットに骨髓液を浸漬させておく。
 - ③ケージに移植骨を補填する場合、ケージ挿入時に充填した自家骨チップが叩き込みの振動によりこぼれ出るのを防ぐため、ケージ前方に自家骨、後方にリフィットを補填しておく。



Collagen Hybrid

リフィット®



製品一覧

償還分類 ; 078 人工骨 (1) 汎用型 (2) 吸收型 i) 多孔体 ii) 蛋白質配合型



形 状	品 番	寸 法	包装単位/箱	区分名略称
ブロック	PB-101010	10×10×10 mm	1個 (1.0mL)	人工骨 : AB-06-2
	PB-103020	10×30×20 mm	1個 (6.0mL)	

PENTAX

製造販売業者

HOYA Technosurgical 株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-4 YKBエンサインビル
TEL 03-5369-1710 FAX 03-5369-1711

- 札幌オフィス 〒060-0007 札幌市中央区北七条西13-9-1 TEL:011-241-3473 FAX:011-241-3472
- 仙台オフィス 〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 TEL:022-371-6944 FAX:022-371-8924
- 名古屋オフィス 〒461-0001 名古屋市東区泉1-21-27 TEL:052-955-8572 FAX:052-955-8573
- 大阪オフィス 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 TEL:06-6263-1679 FAX:06-6263-1686
- 福岡オフィス 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 TEL:092-281-6860 FAX:092-281-6869

URL www.hoyatechnosurgical.co.jp

ご注文先

益子工場

〒321-4292 栃木県芳賀郡益子町大字塙858
TEL 0285-72-6253 FAX 0285-72-6259